

# 〈参考1〉若者・女性等からの意見聴取を踏まえた施策展開

- ▼ 人口減少克服に向けた取組を効果的に進めていくため、県外流出が著しい若者や女性をはじめ、民間就職専門事業者、市町等へ意見聴取（インタビュー・アンケート）を実施しました。
- ▼ 令和6年度当初予算編成において、こうした意見等に迅速に対応すべく、積極的に施策へ反映しました。

区分	若者・女性等の意見の概要	意見等を踏まえた新たな取組
結婚・子育てに関する意識・不安	大半が「子どもを持ちたい」と希望し、子どもの数は2人程度を希望する者が多い。 経済的な負担感、子育て環境に不安を持つ者が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆やまぐち子育て応援第2子以降保育料無償化事業 (保育料無償化による経済的負担の軽減)</li> <li>◆しあわせ運ぶ妊活応援事業 (生殖補助医療及び先進医療に係る費用を助成)</li> </ul>
結婚・子育てに当たって重視すること	夫婦共働きを前提にしたライフプランをイメージしている者が大半であり、それを前提に家事・育児の負担を夫婦で分担する関係性を重視する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆未来につなぐやまぐち子育て応援事業 (男性育休の促進、子育てしやすい職場環境づくり等)</li> <li>◆やまぐちワークスタイルシフトの推進 (県庁の新たな働き方改革を市町や企業等に展開)</li> </ul>
就職の地域選択	就職希望地域の選択に当たっては、「地元だから」に次いで、「希望する就職先がある地域だから」が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆半導体・蓄電池産業集積強化事業</li> <li>◆再生医療等実用化・産業化推進事業 (関連産業の育成、集積につながる研究開発等を支援)</li> </ul>
就職の情報入手	情報量が多い大手の就活サイトの利用者が圧倒的に多く、県内企業が知られていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆若者との共創による県内企業魅力向上事業 (学生の企画・運営によるイベント等の実施)</li> <li>◆明日のやまぐちを創る！高校生就職支援事業 (高校生と地元企業による交流フェア、企業見学等)</li> </ul>
就職先へのニーズ	休日数、時間外勤務状況、福利厚生などワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が強い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆賃金見直しによる人材確保・定着支援事業 (初任給等引上げ応援奨励金等)</li> <li>◆若者との共創による県内企業魅力向上事業 (奨学金返還支援制度の創設奨励金等)</li> </ul>
まちづくり	交通機関などの利便性の悪さに不便を感じる。 (公共交通が不便で、車を持っていないと生活圏が狭いなど。)	◆スマート社会実現プロジェクト推進事業 (スマート社会の実現に向けた自動運転技術の実証・実装)
まちづくり	若者にとって魅力のある施設が少ない。 (若い世代が遊べる場所が限られている。他県と比べて娯楽施設が少ないなど。)	◆山口きらら博記念公園交流拠点化事業 (幅広い世代の県民が交流し、活力を創出・発信する拠点として再整備)